

森に響くハーモニー ～ みすずの森サマーコンサート ～



プロフィール

● 神田勇哉 フルート

平成14年3月卒業
東京芸術大学を首席で卒業
同大学院を経て渡仏 CRRパリ、エコールノルマルにて研鑽を積む。

第14回 全日本クラシック音楽コンクール
フルート部門優勝

第12回 日本フルートコンベンションコンクール
優勝 吉田雅夫賞

第15回 コンクール・ジュヌフルーティスト
(フランス) エクセレンス部門優勝

● 中村順子 フルート

平成17年3月卒業
平成22年武蔵野音楽大学器楽学科フルート専攻卒業
フルートを居石ひとみ、小池郁江、甲斐道雄、中野富雄の各氏に師事。
室内楽を吉岡アカリ氏に師事。

● 吉田智樹 サクソフォン

平成17年3月卒業
昭和音楽大学音楽学部器楽学科卒業
12歳からサクソフォンを始め、中・高校生時代に全日本吹奏楽コンクールに3度出場。大学在学中に第18回日本クラシック音楽コンクール全国大会木管楽器部門入選。
サクソフォンを小串俊寿、彦坂眞一郎の各氏に、室内楽を新井康志、福本信太郎の各氏に師事。
現在長野県を中心に後進の指導にあたっている。

本年度の同窓会総会は百瀬富貴子(副会長・研修部長)さんの企画、ご努力により例年と違った形式をとりおこなわれました。総会前に「みすずの森サマーコンサート」を催し、卒業生3人による演奏を楽しみました。

アルルの女よりメヌエツト、エルガーの愛の挨拶等々躍動感あふれる演奏、美しい音色、リズムにからだを揺らせ、また目をとじて同窓生約50人が聞き入っていました。神田さんは演奏後の挨拶で「プロと成り母校の同窓会で仲間と演奏できる喜びを感じている」と語った。参加者は美しい演奏に感動した、活躍している同窓生の姿を見られて嬉しい、また次回も同様な企画を期待したい。

同窓会総会 結果報告

本年度の総会において同窓会会則が改正されました。以下の通りです。

第2条 本会の事務所は松本美須々ヶ丘高等学校、美須々ヶ丘教育会館に置く。

第6条(5) 常任理事 若干名
その他第5章に事務局並びに専門委員会の項をおこし同窓会に関わる事務および専門委員会の活動を促進することが決定されました。
この会則は平成23年6月18日から施行する。



第7号
2011.11.1

発行
長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
〒390-8602
長野県松本市美須々 2-1
TEL・FAX (0263) 33-2560(事務局直線)
ホームページ
<http://www.mccl.or.jp/www/misuzu100/>
メールアドレス
misuzugaoka@po.mccl.or.jp

印刷 SALAT (株)サラト

私たちの同窓生

会員数 32,508人

在校生 887人
(男412、女475)

平成23年4月現在

前身学校

長野県市立松本女子職業学校
長野県松本高等家政女学校
長野県松本市立高等女学校
長野県松本市立中学校
長野県松本市立女子商業学校
長野県松本市立高等学校



伝統ある母校を誇りに更なる絆を

喜びをもって共に生きる

同窓会長 福島 昭子 (S26卒)

平成23年度同窓会定期総会が、伝統を誇る母校同窓会のシンボルであります美須々ヶ丘教育会館におきまして6月18日(土)に多数の会員の皆様のご参加を頂き開催されました。総会に先立ち後輩であります神田勇哉・中村順子・吉田智樹の3氏による「みすずの森サマーコンサート」の演奏があり同窓会の総会に華を添えて頂き素晴らしい後輩の応援に誇りと感動を覚えまして。総会では次第に基づき全議案が可決承認されました。事務局体制も徐々に整って参り、ここに同窓会報第7号が刊行される運びとなりました。会員の

皆様、今年度もどうぞよろしくご指導ご協力をお願い致します。ご改めまして、大所高所から同窓会に深いご理解とご支援を頂いております安藤校長先生を始めとする諸先生方に心より感謝申し上げます。さて昨年の総会でご承認頂きました美須々ヶ丘教育会館の魂を表すプレートを正面玄関の壁面に掲げました。題は「共に生きる」で文面は別掲の通りです。私たちは数多くの恩恵を頂き生かされています。物質優先が産んだ社会は今混乱の一途をたどっています。東日本



美須々ヶ丘近況

校長 安藤 善二

同窓生の皆様には日頃より在校生に温かいご支援を賜り心よりお礼を申し上げます。276名の卒業生を送り、283名の新入生を迎え、全校生徒87名教職員66名でH23をスタートいたしました。

意識が高まっております。そこに、6月30日午前8時16分。松本市中山地区を震源として震度5強の地震が襲いました。美須々ヶ丘地区は震度4であったとのこと、始業前ですが校庭へ避難指示、生徒並びに校舎内の状況把握の後、一端教室に入り、再度生徒の安否を確認。9時45分の段階で、駅舎や電車内にて待機している生徒も含め、確認すべし884名全員の無事を把握することができました。朝の避難指示への速やかで落ち着いた対応やこの段階で全生徒の把握が可能であったことに、改めて「良い学校だな」と生徒に感謝でした。

戦後世代が殆どの現代人にとっては未曾有のことであり、本校生徒にとっても決して人ごととはとらえられないものでした。3・11の映像や北部地震の体感、被災地の方々と共に日本国民が力を合わせて復興復旧に向かうとする様子などから、災害に対する

双蝶祭後の7月27日から29日にかけて松本市において国連軍縮会議が行われました。23回を迎えるこの会議が地方都市で行われることは初めてであり、高校生がいろいろな形で参加したことともこれまでにはなかったことでした。

た。本校生徒会は、いち早く参加を意思表示、6月には校内平和講演会開催、7月には双蝶祭を通じて全校生徒が平和について考える機会を持ち、軍縮会議には生徒会役員が参加する方針を固め、企画を進めました。そして迎えた軍縮会議の第一日目昼のIAEAT天野事務局長の軍縮教室、最終日29日の高校生平和軍縮トークに10名の役員が出席し発言や質問を行いました。また新聞委員会は、6月4日の菅合松本市長・中馬信毎主筆の対談を取材し14日付け信毎紙面全紙2Pにわたって紹介されました。また高校生記者として3日間軍縮会議会場にて取材、信濃毎日新聞社と協力して速報づくりに携わりました。これら美須々ヶ丘の取り組みが評価され、軍縮トークの最後には、滝澤生徒会長が全県参加高校生を代表して、参加証明書をいただきました。この一連の取り組みを通して生徒達は平和問題を身近な視点から考えること、国際会議への参加そのものと、他校生徒の取り組みに触れたことなど貴重な体験を得ることができました。そして彼等の発揮した積極的建設的な考え方

レビで放映されました。後輩の純粋なカッコ好さに感動と誇りを覚え教えられました。また昨年度から始めました双蝶祭支援活動であります「とんとん豚汁」とん拍子に」のキャッチフレーズで今年も7月9日の双蝶祭に同窓会が豚汁のブースを出し、昨年の30食を上回る盛況でした。継続は力と申します。後輩を温かく支援する同窓会の心を「ふうふう」と吹きながらさっとお腹に受け止めて下さったのではないかと微笑ましく楽しい時間を共有することが出来ました。

と行動力に、美須々ヶ丘のみならずみずみずしい可能性を十分にみることができました。校長室からは森にたまたむ美須々ヶ丘教育会館が見えます。記念式典から2年、当時の生徒会長のことば「過去とは現在を支え未来を拓く指針である」を思い出します。みすずの心を連綿と受け継ぎ、新しい100年に向かって歩みを進める在校生生徒達の一部をご紹介します。



同窓生皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。



教頭 山田洋一

阿南高校から赴任してまいりました教頭の山田洋一です。同窓会の副会長ということですのでよろしくお願いたしました。

阿南高校は長野県最南端の高校で自然豊かな環境でした。急に大都会へ出てまいりました。

美須々ヶ丘高校は100周年が終わったところで、立派な教育会館や100周年記念誌「美須々ヶ丘のこころ」を見せていただき、感激しているところです。自主自立の校風をふまえ、さらによりよい美須々ヶ丘高校となりますよう、微力ですがお手伝いをさせていただきます。



会計(事務長) 刈間俊也

本年6月から事務室に勤務し、併せて本会の会計事務を担当させていただきましたことになりました。

着任早々「理事会」「定期総会」「双蝶祭における母校支援」と本会の主要事業が続きましたが、福島会長を始めとする本会役員の皆様には大変お世話になりました。

定期総会において同窓生3人が素晴らしいハーモニーを響かせた「みすずの森サマーコンサート」、また、大鍋の前に在校生が列を作り、瞬く間に300人分がなくなった双蝶祭の「豚汁サービス」。

いづれも、本会役員及び同窓生の皆様の母校に対する愛情と、これに感激する在校生の姿が強く印象に残りました。

私も、微力ではありますが、本会発展のために努めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

活躍する卒業生

～今回は県議のお二人を紹介します～



中川博司 (S52卒)

このたびの統一自治体選挙におきまして、松本市区より長野県議会議員にご選出をいただき、ご支援をいただいた母校の関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

私が美須々ヶ丘高校に入学したのは昭和49年の4月ですから37年前になります。「新校舎」という応援歌があります。まさに建て替え中でした。また歌詞の中には「県営球場熱砂舞う」とありますが、現在の松本

市営球場は、当時は県営球場でした。陸上競技場も隣にあり、国体に向けて自転車競技場がつけられてもいました。

高校に入学すると同時に、卓球部に所属し、朝は7時から夜も7時まで練習、1年生はもっぱら体力トレーニングで、学校の西門を出て、女鳥羽川を下り最初の橋(二つ目と言った)を渡り、戻ってスポーツ橋を渡って帰るコースをまずランニン

グ。土曜日は桜橋まで下る(二つ目)か、美鈴湖までの往復。そのあと理科棟の廊下で、腕立て、腹筋、うさぎ跳び、スクワット、素振り、フットワークなどをして、小体育館へ行き玉拾いの毎日でした。運動部のなかでもトレーニングは厳しい方だったと思います。結構、大勢新入生はいましたが、最後まで残ったのは私の学年では4人でした。

だんだん打たせてもらえるようになり、ショートの練習を3年生の山本正臣先輩としていて、1,500回のラリーを続けることが出来た時は大きな自信となりました。山本先輩はその年の県大会で優勝し、インターハイに出場しました。私自身は、

一生懸命やっただけですが、試合で結果を出すことは出来ず、新人戦で県のベスト16が最高でした。ただ、トレーニングが運動部のなかで一番きつかったので、競歩大会では卓球部は強く、1年生の時に私は1位、2年生のときに私が3位であと9位まで卓球部でした。3年でもまじめに走って2位となり、体育の先生に大学行ったら長距離をやらないかと言われたこともありました。

選挙では、参議院選挙を戦い落選、衆議院選挙を戦い落選、ようやく県議選で勝利しましたが、粘り強さは高校時代に鍛えられた成果かなと感じています。



糺 裕一 (H元卒)

同窓生の皆さん、いつもお世話になっております。平成元年卒、安曇野市在住の糺裕一と申します。

私は、昨年8月に行われました長野県議会議員補欠選挙におきまして初当選させていただき、本年4月の一般選挙で再選させていただきました。県議会では本年度、私は総務企画警察委員会の副委員長と広報委員を拝命することとなり、日頃よりご指導をいただいている皆様方には心

より感謝申し上げます。

卒業から20年余になりますが、在学中の私は学業に秀でていたという訳でもなく、どちらかというと大人しく目立たない存在でした。残念ながら現在は廃部となってしまうた柔道部に在籍しており、豊科の自宅から片道15kmの道のりを自転車通学する「変わり者」でもありましたが、入学直後にチェルノブイリ原発事故が発生し、国鉄の分割民営化、リクルー

ト事件、昭和から平成への転換期、そして消費税導入など、今振り返っても多感な高校時代に歴史的な出来事が立て続けに起こり、政治への関心は人一倍でした。そして、生来の誇大妄想(?)をそのまま持ち続け、大学卒業後は平凡なサラリーマン生活を送った後、地元選出衆議院議員の秘書を経て現在に至っております。

リーマンショック以降、緩やかな復調傾向にあった県内経済も、本年3月の東日本大震災と栄村を中心とした県北部の地震、5月の生坂村・筑北村での豪雨災害、そして6月に発生した上高地の土砂崩れと松本市を震源とする震度5強の地震により、特にここ中信地域では大きな被害を受け、回復の遅れを余儀なくされました。

このような状況下で、震災復興はもとより、『県民主権』の実現のため、何よりも産業振興・福祉・雇用・教育・環境など県民の暮らしに直結する施策を重視し、徹底した選択と集中を行いながら、将来を見据えた課題解決に全力で取り組む所存です。

同窓生の皆さんには一層のご指導を賜りたく、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら、母校の益々の発展と現役生のご活躍、そして卒業生の皆さんの益々のご健勝をご祈念申し上げます。

高校生が考える平和

国連軍縮会議に参加して

生徒会長 瀧澤 竜之介

僕達美須々ヶ丘高校生徒会は、今年八月に開催された国連軍縮会議in松本に長野県の高校生を代表して参加しました。二十七日の『天野I A E A事務局長と語ろう』と二十九日の『高校生との平和・軍縮トーク』がおもな討論の場となりました。

軍縮会議に参加するにあたって、僕達に何ができるのか、何を考え、どんな意見を発言できるのか、軍縮会議に参加するメンバーで時間が経つのも忘れるぐらい熱心に話し合いました。学校の図書館で核や戦争について調べ、まとめあげた成果を校内に掲示して、全校生徒の軍縮・平和への意識を高めるのに役立てようと思いました。更に、松代大本営から日本の歴史を見つめ直し、世界に平和の尊さを発信する活動を続けてきた長野俊英高校郷土班顧問の土屋光男先生の講演会を企画しました。こうした取り組みの結果、生徒の中から「これまでの自分の認識とは違う真実があった。」とか、「自分の知らない真実を聞くことができてよかった。」という声が寄せられ、少なからず全校生徒の平和に対する意識に変化が起ったことを実感しました。また、講演を通じて朝鮮半島から移住させられた方々は、強制労働をさせられていただけではなく、地域の人々との交流

もあったことを聞き、人から聞いたことを鵜呑みにして物事を一面的に見るのではなく、多面的に見なければ本当の姿がわからないという教訓を得ました。

今の若者に何ができるのかと考えた時、核兵器をなくす、戦争を止めることは難しいけれど、一步一步の地道な活動の輪を広げて若い世代に世界平和の必要性を伝え続けることはできるのではないかと実感しました。何の罪もない人々が、恐怖に怯え、核や戦争によって尊い命を失うことのない世界が実現することを心から祈りながら軍縮会議の最後に、高校生代表として参加章授与をさせていただきます。ただいまの夏の経験は、自分をひと回り大きく成長させてくれたような貴重な体験となりました。

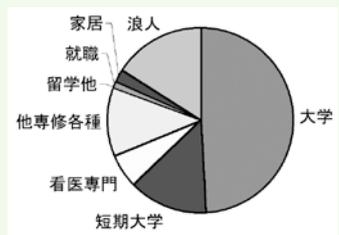


平成22年度 進路状況 (卒業生 276名)

大 学	48.9%	短 大	13.8%
看医専門	5.8%	他専修各種	12.3%
就 職	0.7%	家 居 浪 人	18.1%

人 文	9%	語学・国際	6%	法 学	6%
経済・商学	17%	社 会	3%	福 祉	1%
体 育	1%	芸 術	6%	幼教・保育	10%
教 育	3%	理 学	1%	工 学	13%
農 学	2%	薬 学	3%	看 護	2%
医 療	7%	家政・栄養	7%	そ の 他	3%

大 学	短期大学
48.9	13.8
看医専門	他専修各種
5.8	12.3
留 学 他	就 職
0.4	0.7
家 居 浪 人	
2.2	15.9



おもな進学合格状況 (含浪人)

国公立大学

信州・新潟・富山・富山県立・都留文科・高崎経済・弘前・宇都宮・神奈川県立保健福祉・滋賀県立

私立大学

城西・獨協・文教・亜細亜・國學院・国土館・駒澤・芝浦工業・成城・専修・大東文化・玉川・多摩美術・中央・東海・東京経済・東京農業・東京薬科・東洋・日本・法政・武蔵・武蔵野音楽・武蔵野美術・明治学院・立正・神奈川・関東学院・北里・横浜薬科・新潟医療福祉・金沢工業・北陸・山梨英和・佐久・諏訪東京理科・清泉女学院・長野・松本・愛知・愛知学院・金城学院・中京・南山・日本赤十字豊田看護・日本福祉・名城・龍谷・京都外国語・京都女子・同志社女子・関西外国語・神戸学院

短期大学

(公立) 長野県短・大月短・大分県立芸術文化短

(私立) 國學院大學栃木・青山学院女子・駒澤女子・創価女子・帝京・東京農業大学・桐朋学園芸術・洗足こども・飯田女子・清泉女学院・長野女子・松本大学松商短大・松本短大・愛知医療学院・京都文教

2010(平成22)年度 部活動のおもな大会結果報告

《 サッカー部 》

- ◇長野県高等学校総合体育大会
 - 5/31 (月) 準々決勝 美須々 4-0 岩村田
 - 6/6 (日) 準決勝 美須々 1-3 創造学園 第3位
- ◇第89回全国高校サッカー選手権大会長野県大会
 - 9/5 (日) 2回戦 美須々 7-1 屋代
 - 9/11 (土) 3回戦 美須々 10-0 高遠 (PK 6-5)
 - 10/9 (土) 4回戦 美須々 1-0 東京都市大塩尻
 - 10/16(土) 準々決勝 美須々 2-3 長野日大 (ベスト8)

《 野球部 》

- ◇第92回全国高等学校野球選手権大会 長野大会
 - 7/14 (水) 1回戦 美須々 5-1 野沢南
 - 7/16 (金) 2回戦 美須々 4-3 北部
 - 7/18 (日) 3回戦 美須々 0-10 松代

《 男子バスケットボール部 》

- ◇長野県高等学校総合体育大会
 - 6/4 (金) 1回戦 美須々 124-80 小諸
 - 6/5 (土) 2回戦 美須々 71-87 長野南
- ◇長野県高等学校新人体育大会
 - 11/26(金) 1回戦 美須々 95-69 野沢南
 - 11/27(土) 2回戦 美須々 53-96 長野吉田

《 剣道部 》

- ◇長野県高等学校総合体育大会
 - 6/5 (土) ~ 男子団体戦 予選リーグ敗退 (中信大会4位)
 - 女子団体戦 予選リーグ敗退 (中信大会3位)
 - 女子個人戦 市田祥子 ベスト8 北信越大会
- ◇長野県高等学校新人体育大会
 - 10/20(水) ~ 男子団体戦 予選リーグ敗退 (中信大会5位)
 - 女子団体戦 予選リーグ敗退 (中信大会5位)
 - 女子個人戦 柳澤 栞 (2回戦敗退)
 - 高木 朋 (1回戦敗退)

《 弓道部 》

- ◇長野県高等学校新人体育大会
 - 10/16(土) ~ 個人戦 女子準優勝 山口真季 (全国選抜大会出場)
 - 団体戦 男子準優勝 座間俊光・宮原 駿・小山敏是・望月 力 (東日本大会出場)

《 新聞委員会 》

- ◇第34回全国高等学校総合文化祭宮崎大会
 - 8/1 (日) ~ 8/3 (火) 桐原優香里・小笠原千夏 新聞部門出場

《 放送部 》

- ◇第57回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会
 - 6/18 (金)・6/19 (土)
 - ・テレビドキュメント部門 「笑顔の素」
 - ・ラジオドラマ部門 「いつかまたここで」
- ◇第29回SBC杯長野県高校放送新人コンテスト
 - 12/19(日)・12/20 (月)
 - ・ビデオメッセージ部門 「七色オオカエデ」
 - 「味噌~受け継がれてきた味噌の味~」
 - 第35回全国高等学校総合文化祭長野県推薦作品に決定

《 卓球部 》

- ◇長野県高等学校総合体育大会
 - 6/4 (金) ~ 学校対抗 1回戦 美須々 1-3 長野日大
 - ダブルス 松尾奈々・唐沢由記
 - 3回戦 3-0 飯田風越
 - 準々決勝 1-3 長野商業
 - シングルス 1回戦 唐沢由記 3-0 小諸商業
 - 2回戦 唐沢由記 2-3 伊那西
- ◇長野県高等学校新人体育大会
 - 11/6 (土) ~ 学校対抗 1回戦 美須々 3-1 上田千曲
 - 2回戦 美須々 1-3 須坂商業
 - シングルス 1回戦 藤田沙織 1-3 下伊那農業
 - 2回戦 唐沢由記 3-0 長野商業
 - 3回戦 唐沢由記 0-3 松商学園

《 男子ソフトテニス部 》

- ◇長野県高等学校総合体育大会
 - 6/5 (土) ~ 学校対抗 2回戦 美須々 1-3 長野日大
 - 個人戦 1回戦 神林・上條 0-4 上田千曲
 - 3回戦 平林・赤羽 0-4 丸子修学館 (ベスト16)
- ◇北信越総合体育大会
 - 6/15 (火) 個人戦 2回戦 平林・赤羽 0-4 小松市立
- ◇長野県高等学校新人体育大会
 - 10/16(土) ~ 学校対抗 2回戦 美須々 1-2 上田千曲
 - 個人戦 2回戦 岩倉・北原 2-4 飯田長姫

《 女子ソフトテニス部 》

- ◇長野県高等学校総合体育大会
 - 6/5 (土) ~ 学校対抗 1回戦 美須々 2-1 飯田
 - 2回戦 美須々 1-2 須坂東
 - 個人戦 1回戦 穂高・奥原 3-4 上田
- ◇長野県高等学校新人体育大会
 - 10/16(土) ~ 学校対抗 1回戦 美須々 0-3 飯田風越A
 - 個人戦 1回戦 穂高・奥原 1-4 須坂
 - 1回戦 青木・松田 4-3 飯田女子
 - 2回戦 青木・松田 3-4 長野日大

《 吹奏楽部 》

- ◇第50回長野県吹奏楽コンクール
 - 8/8 (日) 金賞 課題曲 汐風のマーチ
 - 自由曲 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」
- ◇第53回中部日本吹奏楽コンクール長野県大会
 - 9/11 (土) 銀賞 課題曲 美中の美
 - 自由曲 朝鮮民謡の主題による変奏曲

《 合唱部 》

- ◇NHK合唱コンクール長野県大会 7/19 (月) 銀賞
- ◇朝日長野県合唱コンクール 銀賞



平成23年度 同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒 年
会 長	福 島 昭 子	昭 26
副会長	大 林 好 矩	昭 28
副会長・組織部長	中 村 一 郎	昭 37
副会長・事務局長	荻 原 幹 雄	昭 38
副会長・研修部長	百 瀬 富 貴 子	昭 45
副会長	白 井 秀 代	昭 47
副会長・総務部長	小 林 磨 史	昭 48
副会長・広報部長	矢久保 学	昭 52
副会長	須 澤 稔	昭 54
副会長	山 田 洋 一	教 頭
常任理事	有 馬 恭 子	昭 38
常任理事	山 田 悦 生	昭 42
顧 問	銭 坂 明 尚	昭 22
顧 問	井 口 善 高	昭 30
顧 問	安 藤 善 二	学校長
参 与	中 川 博 司	昭 52
参 与	甕 裕 一	平 元
監 事	鳥 羽 紀 子	昭 38
監 事	小 野 伸 二	昭 61
会 計	原 元 士	昭 50
会 計	刈 間 俊 也	事務長
理 事	原 みよ子	昭 22
理 事	浅 原 忠 子	昭 38
理 事	太 田 公 孝	昭 38
理 事	三 澤 博	昭 39
理 事	三 輪 尚 弘	昭 41
理 事	伊 藤 篤 實	昭 43
理 事	上 條 信 太 郎	昭 44
理 事	川 崎 亨	昭 45
理 事	中 村 俊 春	昭 46
理 事	松 本 武 子	昭 47
理 事	山 崎 いずみ	昭 51
理 事	高 橋 隆 夫	昭 54
理 事	木 下 尚 子	昭 55
理 事	中 村 努	昭 56
理 事	鳥 羽 洋 一	昭 57
事務局員	住 田 慶 子	昭 37
事務局員	鳥 羽 美 根 子	昭 37
事務局員	横 田 麗 子	昭 43

【学校職員】

常任理事	高 橋 一 郎	昭 58
常任理事	稲 場 隆	昭 59
常任理事	祖父江 信 一	昭 59
事務局	齋 藤 俊 樹	平 2
事務局	白 木 貴 仁	平 7
事務局	滝 沢 愛 子	

創立百周年記念事業寄付者名簿 (記載もれ・追加)

遠藤良兼	小山晃弘	河野美智子	金井孝彦	寺口芳彦	小早川光子	寺澤國輔	金井利達	毛井生	松井登志子	原みよ子	福岡咲代	上澄子	内城友子	
平高⑦	昭50高⑧	昭47高④	昭39高普	昭37高普	昭35高普	昭35高普	昭34高普	昭32高被	昭30定商	昭28商本	昭22商本	昭20本	昭18本	昭16本

■ 創立100周年記念事業決算報告 (最終) ■

収入総額	57,855,591円
支出総額	57,855,591円

【収入の内訳】

募金	46,863,091円
90周年会計からの繰越	5,160,722円
同窓会会計からの繰入等	5,831,778円

【支出の内訳】

美須々教育会館の建設・設備整備	39,673,854円
記念式典・祝賀会の開催	5,756,851円
記念誌「美須々のところ」の発行	5,563,525円
募金の募集	2,533,386円
事業の広告、委員会経費等	2,453,823円
大人の文化祭等の開催	1,585,452円
学校環境整備共同作業、ロゴ作成等	288,700円

監査の結果、適正に執行され、正確に処理されていたことを認めます。

平成23年5月25日 監事 鳥羽紀子

平成23年5月29日 監事 小野伸二

事務局より

百周年記念誌「美須々のところ」P364・365に掲載されている『美須々ヶ丘高校の桜の思い出』小林亘様の卒業年に誤りがございました。正しくは(昭和29卒)となります。

シリーズ 美須々のころ①

島崎藤村が作詞 山田耕筈が作曲した 松本女子職業学校の校歌

松本美須々ヶ丘高校100年の歩みを綴った記念誌『美須々のころ』の中から次代へ受け継いでいきたい美須々精神や学校の歴史など、特筆すべき記事をシリーズで紹介します。

松本女子職業学校校歌は昭和九(一九三四年)年、創立二十五周年の記念事業の一つとして制定され、後の松本高等家政女学校、松本市立高等女学校へ歌い継がれた。この校歌のことについて詳述したい。

バザーの慰労会や庭球部祝勝会、同窓会総会、卒業式などでは「信濃の国」や「金剛石」が歌われていた。生徒たちは「二つの願い」、すなわち新校舎建設と校歌制定の実現を期待するようになった。それは、文芸部による準校歌募集という形となり、生徒講演会における「二つの願

いの実現」の主張となっていた。これが学校創立二十五周年記念事業の一つとしての校歌制定へと発展した。作詞者の第一候補は島崎藤村、作曲者の第一候補は山田耕筈であった。

作詞について上京懇請した学校長松沢実蔵に藤村は、「どこの学校の校歌も作らないことにしているが、女子職業学校生徒の作品に筆を入れるといふことで、とくに引き受けることにしよう。」と答えたという。(つづく)

松本女子職業学校
松本高等家政女学校
松本市立高等女学校

校歌

作詞 島崎藤村
作曲 山田耕筈

- 一、むかしより
深志の里は 松葉に清し
その葉をば胸に結ばむ
その葉をば手にもかざさむ
をとめごの心をつなぐ
うら若きしるしともせむ
- 二、むかしより
深志の里は 松葉に清し
学び舎は古城のもとに
母のごと立てるを見よや
緑葉は香ひあふれて
をとめごの思ひを傳ふ
- 三、むかしより
深志の里は 松葉に清し
清さあり何かおそれむ
若さあり何かおそれむ
まごころはやがて伸びゆく
をとめごを守る力ぞ
- 四、むかしより
深志の里は 松葉に清し
奥深き学びの道の
遠くとも心燃えなば
縫ふ針の貫く日あり
一筋の直き松の葉

松本美須々ヶ丘高校の100年の歩み「美須々のころ」は、私にとつて忘れられぬ一冊となった。高校〇年史というのはいたい分厚く面白くないのが多いようで、正直母校のバラバラやるのが精いっぱいだが、美須々ヶ丘高のは「読みやすく面白」。今後の見本になつていく気がした。幸いにもその校歌をやらせていただいた。

面白い理由は主役の生徒たちの懸命な取り組みの姿と、それをうまく引き出している編集にある。1981(昭和56)年の校内強歩大会は激しい雨になり、途中中止になった。出発時「中止はない」という先生の言葉を信じて走つたのに、中止で「はい終わりはいどい」といった趣旨の「檄」が生徒昇降口に張り出された。文に署名がないという指摘で筆者名が記されるなどの経過や、生徒と先生の感想が載つた当時の学校新聞を紹介している。

私も一度は檄文を出したいと思いつつ、ついに老境に入つてしまった。自分の信条を思いつきり吐き出したことのある

美須々のころ

黒田重夫

人とならない人では、その後の人生に違いが出てくると思う。

こんな記事も載っている。教職員組合主催で県内高校生が参加したサマーキャンプに同校代表の3人がビールを飲み、学校の指導を受けた後の生徒総会で、皆の前で謝るかどうかが問題に。挙手をとつたところ賛否同数。クラスごとに数の確認作業中、3人が自主的に前に出てそれぞれ反省の言葉を話す。目をこすりながら「すみませんでした」と繰り返す生徒に会場から一斉に感動のこもつた拍手。まさに青春ドラマ。私も高校時代、皆で何度か酒を飲んだが見つからなかつたこともあり、こっちはいかなかった。

有名、無名の卒業生などによる座談会、回想記も登場人物が多く、他校のとはちよつと違う。高校時代にしたバスケットボールを続け、シニアの県大会で優勝したりネンリンピックに出場したりという手記に、高校生活の意義が分かってくる。同校に限らず在校生が読んでほしい記念誌になつている。

(松本地区書道協会理事)

音楽は国境を越える

三年六組 浅沼 遥

昨年六月、私達吹奏楽部は台湾へ初の海外遠征をさせていただきました。演奏旅行をさせていただきました。この台湾で過ごした四泊五日は忘れることのできない貴重な思い出となりました。

一日目。バスと飛行機を乗り継ぎ、半日かけて台北市立華江高級中学に到着しました。最初は戸惑うばかりでしたが、片言の英語に身振り手振りを交えて必死に会話するうちに打ち解けるようになりました。

二日目。華江高級中学の演奏会にゲスト出演させていただきました。その後は合同演奏となり、心から音楽を楽しみ合うことができました。その夜は台湾の士林夜市の散策に出かけました。まるで日本のお祭りのような賑やかさで、沢山の屋台や露店が建ち並び、見る物全てに目を奪われてしまいました。夜の台湾を満喫した二日目でした。

三日目。午前中に市内の名所・旧跡や博物館を見学し、お昼に本



格的な中華料理店で小籠包を食べました。今まで食べてきたものの中で一番というほどのおいしさを味わいました。午後には光啓高級中学校を訪れ、歓迎会と合同練習をして交流を深めました。その夜は先生方の家にそれぞれ分かれてホームステイをしました。私のホームステイ先の先生は、お寺やコンビニに連れて行ってくださいました。英語が全く話せない私に、先生は本当に優しく接してくださいました。なかなか体験できないホー

ムステイができ、光啓高級中学校の先生方には感謝でいっぱいです。
四日目。光啓高級中学校で授業体験やちまき作りをしました。最後に全校の前で演奏したときは全校の皆さんも盛り上がったようで本当に楽しいひとときを過ごしました。
四日間の沢山の交流を通して、私達は言葉が通じなくても、音楽は国境を越えたコミュニケーションション手段になることを実感しました。この貴重な体験をさせていただくにあたり、多くの方々に協力していただきましたことを改めて感謝いたします。本当にありがとうございます。

編集後記

今年の双蝶祭も青春の熱き思いをいっぱい詰め込みながら盛大に開催された。

私にとつて双蝶祭の一番の思い出は、後夜祭でファイヤーストームの周りを泥んこになりながら友と肩を組んで走り回ったことだ。この泥んこスタイルは、昭和52年に初めて登場するのだが、実は、私が3年の時、生徒会役員の有志十数名を中心に文化祭改革委員会なる勝手連を構成し、双蝶祭を盛り上げようと取り組んだ活動の一環であった。これを実現するため、私は仲間と、近隣の高校の後夜祭をすべて体験しながら仕掛けの研究を重ねた。

結果はみごと泥だらけになって後夜祭は最高の盛り上りをみせたのだが、初めてのことでは着替えの準備のなかった生徒の父母から学校へ苦情の電話が殺到したらしい。私も後夜祭の後、改革委員会の仲間と夜を徹して反省会を実施したため、翌日は、友人宅からノパンで文化祭の後片づけに出掛ける羽目となった。

また、文化祭用手づくり法被の作り方を書いたチラシを配布して普及促進を図ったところ、各サークルでオリジナル法被をつくるのが流行った。手始めに、自分たちで法被の見本をつくらうとしたが予算がなかったため、理科室の白いカーテンを黙って拝借してこれを生地に縫い合わせ、家庭科準備室にあった染料で染め、美術科の先生に相談してシルクスクリーンで文字と模様を入れた。お陰様で材料費は掛からずに素晴らしい手づくり法被が出来上がった。

だが、後日、先生から大目玉を頂戴することとなった。

この他、今も歌い継がれる「みすずこの歌」の作成や、男子の女装による「ミス双蝶祭」の第一回目の開催等も手掛け、まさに文化祭は、青春そのものだった。こうした自由が許された(?)のは、美須々の自由な気風があったからだとか心から感謝すると同時に懺悔の気持ちを込めてこの会報の編集をさせていただきました。(M)

東日本大震災寄付についての報告

6月18日の総会に寄付を募ったところ、23,509円集まりました。同窓会より76,491円を出していただき、10万円と市市民タイムスとおして寄付をしました。

教育会館をご利用ください。

- 事務局便り
教育会館を見学、ご利用を希望される方は毎週(火)事務局へ連絡ください。
TEL. 0263-33-2560 (荻原)
 - 教育会館利用状況
1. 学校関係
各種会議、クラブ活動、自習室
(月～金) ほぼ毎日
 2. 同窓会関係
役員会、理事会、総会、同級会見学
以上幅広く利用されています。

100周年記念誌が事務局に残っております。ご購入希望の方は、同窓会事務局までご連絡ください。

